

令和4年度（令和3年度分）
教育に関する事務の管理及び執行の状況
点検・評価結果報告書

令和4年8月
玖珠町教育委員会

目次

1	点検・評価の概要	・・・・・・・・P	1
2	令和3年度玖珠町教育委員会の重点方針	・・・・・・・・P	3
3	点検・評価一覧	・・・・・・・・P	11
4	事務管理の執行状況点検・評価基準	・・・・・・・・P	12
5	点検・評価調書の説明	・・・・・・・・P	13
6	事務管理の執行状況点検・評価調書	・・・・・・・・P	15

1. 点検評価制度の概要

(1) 経緯

平成18年12月に教育基本法が全部改正され、これに続き地方教育行政の組織及び運営に関する法律も、平成19年6月にその一部が改正され、平成20年4月から施行されました。

この法律の改正により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し公表することが義務付けられました。

(2) 目的

事務の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

(3) 評価等の対象

評価等の対象は、毎年度策定している玖珠町教育行政の重点方針であり、各方針の具体的取組に目標指標を設け、達成率から総合的に令和3年度分の事務の管理及び執行状況について点検・評価したものです。

(4) 評価の方法について

重点方針の具体的な取組に目標指標を設け、客観的に事業の達成度が分かるようにしています。複数の具体的な取組の達成度を総合的に判断し、教育委員会の「自己評価」及び事務評価部会が行う「総合評価」で評価を行っています。

(5) 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、玖珠町総合教育審議会委員のうちから事務評価部会として3名の委員が専任されています。

○委員

部会長 久保喜延氏

岩田栄子氏

高倉真由美氏

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項に規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和3年度玖珠町教育行政の重点方針

令和3年4月
玖珠町教育委員会

令和3年度玖珠町教育行政の重点方針

教育行政の基調

『子どもたちに未来へのバトンを渡すために』

～ 少子・人口減少社会において地方創生を視野に入れた地域の活力を生み出す教育施策 ～

現在のわたしたちの社会生活は、地域の人口減少と少子高齢化が進む中で、グローバル社会の進展に伴う価値観の多様化や、情報通信技術の進歩とSNSの普及など、急速に変化する生活環境の中でさまざまな影響を受けています。そういった中で、子どもたちの規範意識や道徳心の低下、家庭や地域の教育力の低下、そして地域社会のつながりの希薄化などが顕在化しており、社会的な課題となっています。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う新しい生活様式への変化の中で、一人一台パソコンを活用したGIGAスクール構想の前倒し実施など、子どもたちの教育環境についても大きな変革の時期を迎えています。

玖珠町第6次総合計画に掲げられた「次代を担う子どもとともに 未来をつくるまち」という新しいまちづくりの基本理念を実現するためにも、子どもたちの「心の豊かさ」や「生きる力」を育む学校教育の取組とともに、住民一人ひとりが生きがいや思いやりを持ち「活力ある共生社会」の実現に向けた主体的な生涯学習も推進しなければなりません。

玖珠町教育委員会は、玖珠町教育行政の目指すべき方向を確かなものにするとともに、現状の課題や具体的な取組を明らかにするため、毎年度重点方針を定めて事業施策を展開していきます。

玖珠町のまちづくりのテーマである「童話の里」づくりは人づくりです。人が生涯にわたって生き生きと暮らすためには、教育の果たす役割はきわめて重要です。学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら協働し、町民一人ひとりが夢を持ち、個々と地域の課題を掘り起こし、解決方法を探ることこそが「童話の里」づくりであるとの認識に立ちます。

今年度の重点方針

I 学校教育

1. 確かな学力の定着・向上（知）
2. 豊かな人間性の育成（徳）
3. 心身の健康と体力の向上（体）
4. 特別支援教育の充実
5. 保護者・地域に開かれた学校づくりの推進
6. 安心・安全な学校づくり
7. 組織的に取り組む学校運営体制づくりと教職員の資質向上
8. 「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり
9. 学校間・校種間のきめ細やかな連携
10. ICTを活用した教育の推進
11. 学校における働き方改革の推進
12. 地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営
13. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備
14. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

II 社会教育

1. 地域の教育力の向上
2. 子どもと大人 家庭と地域での教育
3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
4. 久留島武彦精神を継承する環境の充実
5. 文化の創造と振興
6. 地域にある文化財の保存と活用の推進
7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

III 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実
2. あらゆる場における人権教育の推進

I 学校教育
<p>「自分が好き、学校が好き、玖珠が好き」と言える子どもの育成をめざし、本年度4つの重点をもって、学校教育施策を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成 2. 家庭・地域に信頼され、協働して子どもを育む学校教育の推進 3. 学校間・校種間のきめ細やかな連携 4. ICTを活用した教育の推進
<p>1. 確かな学力の定着・向上（知）</p>
<p>「第4次玖珠町学力向上推進計画」に基づき、教育行政、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を全うすることで、確かな学力の定着・向上を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施 ②図書館活用教育の推進
<p>2. 豊かな人間性の育成（徳）</p>
<p>あいさつ、時間、言葉遣いなど基本的な生活習慣の徹底を図るとともに、心の教育（道徳教育・人権教育等）を充実させることによって、自己肯定感を育む取組を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①体験的参加型授業・体験活動の充実 ②生徒指導の充実
<p>3. 心身の健康と体力の向上（体）</p>
<p>町内全小・中学校において「体力向上一校一実践」の取組を継続的に行い、体力の向上に努めるとともに、望ましい生活習慣に繋がるように食育の充実を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日常的な体力づくりの充実 ②栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
<p>4. 特別支援教育の充実</p>
<p>支援を要する児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的自立に必要な力を養うため、就学前から関係団体との連携を図ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個別の指導計画の作成と活用の推進 ②特別支援教育支援員の活用 ③インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
<p>5. 保護者・地域に開かれた学校づくりの推進</p>
<p>コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を活用し、保護者・地域住民の学校経営への参画を促し、家庭・地域に信頼される「地域とともにある学校づくり」を推進します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①積極的な情報発信 ②地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進 ③地域学校協働本部との連携

<p>6. 安心・安全な学校づくり</p> <p>生活安全（防犯）、交通安全、災害安全（防災）の3つの領域それぞれにおいて、児童生徒の安全確保に向け、安心・安全な学校づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①危機管理マニュアルの作成と実行 ②通学路安全点検の実施と危険個所の解消 ③施設・設備の安全点検の徹底
<p>7. 組織的に取り組む学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上</p> <p>学校の教育目標達成に向けて組織的に取り組む学校運営体制を確立するとともに、互見授業や校内研修の充実及び研究推進校の指定や学校訪問等を通して、教職員の資質・能力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①校内研修や管理職による観察・指導の実施 ②各校教職員間の効果的な研修の実施
<p>8. 「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり</p> <p>玖珠町出身の先哲等に学ぶ学習を推進することを通して、郷土についての理解を深めるとともに、郷土を愛し、より良くしようとする態度の育成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教職員への郷土を学ぶ研修の実施 ②副読本を用いた各小学校における久留島学習の定着
<p>9. 学校間・校種間のきめ細やかな連携</p> <p>小学校とくす星翔中学校が連携し、中1ギャップ解消をはじめスムーズな中学校生活を送れるよう取り組みます。</p> <p>また、くす星翔中学校と玖珠美山高校との校種間連携や、玖珠町内のこども園や町立幼稚園と小学校との校種間連携が円滑に進められる場づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①校種間連携に係る事業の実施
<p>10. ICTを活用した教育の推進</p> <p>文部科学省のGIGAスクール構想により、全児童生徒に通信端末が整備された中で、一人一人の能力や個性に応じて個別最適化された学びの実現に向けて、学習環境の整備充実に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル教材の導入 ②情報端末活用ガイドラインの策定 (玖珠町の未来の地域課題解決を担う人材育成有識者会議の開催) ③家庭学習での通信端末の活用
<p>11. 学校における働き方改革の推進</p> <p>学校における働き方改革の目的は、「教師がこれまでの学校教育の蓄積と向かい合って自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること」です。これに基づき、学校における働き方改革を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ICTを活用した日常における業務改善の取組

②出退勤管理と具体性のある改善目標の設定（1校1改善運動）
1 2. 地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営 地域に唯一の高校である県立玖珠美山高校の存続に向けた支援を行うとともに、同校生徒の進路達成に向けた支援に取り組みます。 ①広報及び人材育成や部活動への支援 ②公営塾の効果的な運営 ③郡外等から就学する生徒への下宿助成
1 3. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備 「玖珠町幼児教育振興プログラム」に基づき、就学前教育の質の向上と充実を図ります。また、地域の実態をふまえた教育環境の整備に努めます。 ①認定こども園等と町立幼稚園の連携 ②就学前児童の就学への支援 ③関係機関との連携と家庭教育支援
1 4. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進 玖珠町で採れる新鮮で安全・安心な米や野菜などの食材を積極的に活用しながら、地域の農と食文化の素晴らしさを知り、郷土愛を育む取組を進めます。 食材費とのバランス関係にある給食費の滞納対策を強化します。 学校給食センターの施設の更新・改修により、調理能力及び衛生管理を補強し安全・安心で美味しい給食の提供に努めます。 ①郷土愛を育む地産地消の推進 ②新鮮で安全・安心である適正な食材確保 ③計画的な調理施設・設備・備品等の整備

II 社会教育 社会教育基本計画（令和3年度から令和7年度まで）の3つの基本目標に沿った7つの重点方針により、本年度の社会教育施策を行います。 【社会教育基本計画 基本目標】 1. 人づくり 生きがいを育む社会教育の推進 2. 体づくり 心と体の調和を図る社会体育の充実 3. 心づくり 郷土の文化・歴史の学習、芸術創造力の育成
1. 地域の教育力の向上 地域づくりの主役である大人自身が地域の持つ課題を認識し、主体的な生涯学習に対する意識を高めることで、地域づくりに参画・協働する雰囲気づくりを進めます。 また、子ども達と共に学び世代間の繋がりを持つことで、子ども達が大人になってからも地域を発展させる力となるようにしなければなりません。 ①「協育」ネットワーク連携促進事業 ②世代に応じた各種学習活動の支援

2. 子どもと大人 家庭と地域での教育

家庭や地域での学びは、人間形成の基礎を養う大切な役割を担っています。学習機会の充実を図ることにより各家庭の教育力の向上に繋げると共に、子ども達には、地域での交流や体験を通じた活動で、学び・考え・行動するといった人格を養う環境づくりをしなければなりません。

子どもの健全育成のためには、家庭・地域・学校と連携を図る必要があります。

- ①青少年健全育成協議会への支援
- ②わらべサークル協議会への支援
- ③児童文化の担い手の育成
- ④家庭教育に関する講演会の実施

3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進

心身ともに健康で充実した毎日を過ごすためには、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことが重要です。

活動団体及び指導者の育成及び競技力向上の支援、体力向上・健康増進に関する情報や学習機会の提供をしていく必要があります。

- ①スポーツ団体、サークル活動の充実
- ②住民参加型のスポーツイベントの実施

4. 久留島武彦精神を継承する環境の充実

「童話の里」の根幹をなす日本のアンデルセン・久留島武彦の偉業やその精神を後世に伝えるため、各年齢層に合った学習環境を充実します。久留島武彦の幅広いネットワークを活かせるような企画を試み、記念館を通じた調査・研究の成果を町民と共有することで、半世紀以上の歴史を誇る「童話の里」づくりのさらなる発展を目指します。

- ①日本童話祭の開催
- ②久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催
- ③久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催
- ④久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催
- ⑤小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供
- ⑥久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信

5. 文化の創造と振興

文化芸術の振興は、「童話の里」づくりにとって重要な取組です。文化の薫る感性豊かな町となるために、すぐれた文化芸術作品に触れる機会を充実し、理解を深め、親しめる環境づくりを行います。

- ①町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援
- ②巡回音楽会の開催
- ③文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催
- ④文化芸術に触れる機会の提供
- ⑤久留島武彦記念館による企画展の開催

6. 地域にある文化財の保存と活用の推進

地域にある文化財を活用した、地域の歴史、地域の文化を学ぶ場の提供を行います。このことから、文化財の保護・保存・整備に取り組み、地域づくりにつながる文化財の活用を行っていきます。

- ①文化財の保存・活用の推進
- ②国指定文化財の保存整備

7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

玖珠町は図書館を持たない県内2町村の内のひとつです。あらゆる年代層に生涯学習を保障するため、既存施設を活用した図書館サービス網を充実させるとともに今後の図書館サービスのあり方について関係各所と連携・協議を深めます。

- ①わらべの館の図書の充実
- ②くすまちメルサンホール図書室の充実と利用者の拡大
- ③わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携
- ④各自治会館との連携・協議
- ⑤わらべの館移動図書館車の活用
- ⑥図書館サービスのあり方について連携・協議

Ⅲ 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実

玖珠町人権施策基本計画に伴う実施計画に基づいて、教育活動全体を通して意図的・計画的に人権教育を推進します。また、人権教育推進校の指定による研究成果の共有、人権に係る研修会への積極的な参加等によって、教職員の資質の向上を図り、人権教育の充実を目指します。

- ①児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
- ②部落差別解消に向けた教職員研修の実施

2. あらゆる場における人権教育の推進

「玖珠町人権施策基本計画」を基調に、わが国固有の人権問題である部落差別問題をはじめ、女性や子ども・高齢者・障がい者・外国人・医療など様々な人権課題について正しく理解し、その解決に向けた意欲と実践力を持った住民を育成することが重要です。あらゆる場において、学習機会の提供を人権確立・部落差別解消推進課と連携して進めます。

- ①人権公開講座の開催
- ②広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
- ③部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価一覧

令和3年度 重点施策		担当	頁	自己評価	総合評価
I 学校教育					
1	確かな学力の定着・向上（知）	学務・指導班	15	C	C
2	豊かな人間性の育成（徳）	学務・指導班	16	A	A
3	心身の健康と体力の向上（体）	学務・指導班	17	B	B
4	特別支援教育の充実	学務・指導班	18	B	B
5	保護者・地域に開かれた学校づくりの推進	学務・指導班	20	A	A
6	安心・安全な学校づくり	学務・指導班 教育政策班	22	B	B
7	組織的に取り組む学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上	学務・指導班	24	A	A
8	「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり	学務・指導班	25	B	B
9	学校間・校種間のきめ細やかな連携	学務・指導班	26	C	C
10	ICTを活用した教育の推進	教育政策班	27	B	B
11	学校における働き方改革の推進	学務・指導班	29	A	A
12	地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営	教育政策班	30	C	C
13	就学前教育の質の向上と教育環境の整備	学務・指導班	32	B	B
14	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進	給食センター	34	C	C
II 社会教育に関すること					
1	地域の教育力の向上	社会教育班 公民館班	36	B	B
2	子どもと大人 家庭と地域での教育	社会教育班 わらべの館	38	C	C
3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進	社会教育班	40	C	C
4	久留島武彦精神を継承する環境の充実	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館	41	B	B
5	文化の創造と振興	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館	44	B	A
6	地域にある文化財の保存と活用の推進	社会教育班	47	A	B
7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実	公民館班 わらべの館	48	B	B
III 人権教育					
1	学校教育における人権教育の充実	学務・指導班	51	A	A
2	あらゆる場における人権教育の推進	社会教育班	52	A	A

事務管理の執行状況点検・評価の基準

達成率・達成度について

各方針の具体的取組に目標指標を設け、それに対する実績値から達成率を算定し、達成度としています。

達成度	達成度の目安
◎	達成率100%以上
○	達成率100%未満80%以上
△	達成率80%未満60%以上
×	達成率60%未満
—	コロナ禍により測定未実施

自己評価・総合評価について

教育委員会評価を「自己評価」、事務評価部会評価を「総合評価」とし、重点方針の主要事業を総合的に評価したものとしています。

評価ランク	目標に対する達成度合い
A	「十分成果が上がっている。」
B	「成果がみえる」
C	「成果がみられるが、更なる取り組みを要する」
D	「改善を必要とする」
E	「抜本的見直しが必要」

事務の点検・評価調書説明

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	1	学校教育	担当所属	教育政策班 指導班
中項目（方針）	1	確かな学力の定着向上		

説明：玖珠町教育行政の重点方針の大項目（学校教育、社会教育、人権教育）、大項目下の中項目（令和3年度方針23項目：学校教育14、社会教育7、人権教育2）を記入しています。

1 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	①教育環境の整備 ②基礎学力の定着と向上
前年度点検・評価 で整理した課題	①.....を改善する ②.....を重点的に行う。

説明：主要事業は、玖珠町教育行政の重点方針の小項目を記入しています。それに対して、整理した課題等を記入しています。主要事業①＝課題①（※今後丸数字は、すべて主要事業にリンクしています）

2 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：主要事業の中で、実施した取組を箇条書きにしています。

3 目標指標の設定 【実行】

目標指標	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
①.....	台	1050
②.....	%	100

説明：4で目標数値の達成度から評価を行うが、目標数値の設定根拠について記入しています。

4 目標指標の達成度【評価】

目標指標	単位	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a	達成度	自己評価	総合評価	
①	台	1050	1050	100	◎	B	C	
②	小	%	100	100.5	100.5			◎
	中	%	100	95.3	95.3			○

説明：目標数値に対して、実績値・達成率を記入しています。それにより、達成度を表しています。

【達成度：達成率に対して、「◎」100以上、「○」99～80、「△」79～60、「×」60未満】
 (※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業の達成度は、を測定していない
 その場合「-」を記入しています)

【評価：A 十分成果が上がっている、B 成果が見える、C 成果がみられるが、更なる取り組みを要する、D 改善を必要とする、E 抜本的見直しが必要】

評価は、達成度の状況を考え、教育委員会の自己評価、事務評価部会委員の総合評価を記入しています。

5 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：改善項目は、事業ごとに記入しています。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	1	確かな学力の定着・向上（知）		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施 ② 図書館活用教育の推進
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施
◆ 確認テストの実施
◆ 玖珠町標準学力調査の実施
主要事業： ② 図書館活用教育の推進
◆ 図書館を活用した授業の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 確認テスト：目標値を超える学年数	学年数	75	全学年数108（1回目は1年生を除くため全学年数は32）年3回実施
① 標準学力調査：目標値を超える学年・教科数	教科数	27	小1～小3：2教科、小4：3教科、小5～小6：4教科 中1～中2：5教科 合計27教科
② 図書館を活用した授業実施校数	校	7	全小中学校で週1回以上実施する

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 確認テスト：目標値を超える学年数	学年数	75	81	108	◎	C	C
① 標準学力調査：目標値を超える学年・教科数	教科数	27	20	74	△		
② 図書館を活用した授業実施校数	校	7	5	71	△		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施
◆ 小学校においては目標値を達成しているが、中学校においては達成できていない。小学校で付けた力を中学校で伸ばせるようにしなければならない。引き続き、確認テストを実施するとともに、標準学力調査も実施し、課題の検証を行いながら、学力の定着に取り組んでいく。
主要事業： ② 図書館活用教育の推進
◆ 学校によって取り組む頻度に差があるものの、図書館を利用した授業を全小中学校で実施できている。今後も図書館を活用した授業の実施に取り組む。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	1	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	2	豊かな人間性の育成（徳）		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 体験的参加型授業・体験活動の充実 ② 生徒指導の充実
前年度整理した課題	① — ② —

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 体験的参加型授業・体験活動の充実
◆ 体験的参加型授業・体験活動の実施
主要事業： ② 生徒指導の充実
◆ いじめ・不登校及び教育相談に係る取り組み

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 体験的参加型授業・体験活動の実施	校	1	豊かな体験活動推進事業
② 学校が楽しいと回答した児童生徒の割合	%	80	全国学力調査質問紙（小6、中3）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 体験的参加型授業・体験活動の実施	校	1	1	100	◎	A	A
② 学校が楽しいと回答した児童生徒の割合	%	80	小85.3 中84.1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 体験的参加型授業・体験活動の充実
◆ 学校規模に関わらず、全ての学校において、何らかの形で体験的参加型授業に取り組めるよう支援体制を整えることが必要である。
主要事業： ② 生徒指導の充実
◆ 「学校が楽しい」と回答した児童生徒の割合について、全国値が小学校83.4%、中学校81.1%であり、それぞれを1.9ポイント、3.0ポイント上回っている。思春期を迎える時期にある中で、学校生活を楽しむことができている児童生徒が多い。引き続き学校における居場所づくりに取り組んでいく。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	3	心身の健康と体力の向上（体）		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 日常的な体力づくりの充実 ② 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
前年度整理した課題	① — ② —

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 日常的な体力づくりの充実
◆ 学校ごとに「体力向上一校一実践」を実行する。
主要事業： ② 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
◆ 栄養教諭招聘授業の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 「運動が好き」の割合	%	小男95、小女85 中男90、中女85	体力・運動能力調査より
② 栄養教諭招聘授業の実施	校	7	全小中学校で実施 本年度、栄養教諭が初任者のため各校1回程度

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 「運動が好き」の割合	%	小男95、小女85 中男90、中女85	小男88、小女77 中男86、中女74	小男92、小女90 中男95、中女87	○	B	B
② 栄養教諭招聘授業の実施	校	7	6	85.7	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 日常的な体力づくりの充実
◆ 「運動が好き」の割合については、若干目標指標に達しなかったが、各学校で1校1実践の活動に取り組むことで日常的な体力づくりにつながるように今後も指導する。
主要事業： ② 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
◆ 今年度は栄養教諭が新採用で研修が多かったこともあり、中学校のみ実施できなかったが、小学校は全校で実施できた。規則正しい生活習慣とともに、引き続き食に関する指導を実施し、心身ともに健康な体づくりをめざす。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	4	特別支援教育の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 個別の指導計画の作成と活用の推進 ② 特別支援教育支援員の活用 ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
前年度整理した課題	① — ② — ③ —

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 個別の指導計画の作成と活用の推進
◆ 個別の指導計画の作成
主要事業： ② 特別支援教育支援員の活用
◆ 特別支援教育支援員の配置
主要事業： ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
◆ インクルーシブ教育の推進

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 個別の指導計画の作成数	%	100	支援を要する児童生徒全員
② 特別支援教育支援員研修の実施	回	2	年度初め、長期休暇
③ インクルーシブ教育実施校	校	5	特別支援学級が設置されている学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 個別の指導計画の作成数	%	100	97.9	97.9	○	B	B
② 特別支援教育支援員研修の実施	回	2	1	50	×		
③ インクルーシブ教育実施校	校	5	5	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 個別の指導計画の作成と活用の推進	
◆	特別支援学級及び通級学級の児童生徒については、全員の個別の指導計画を作成できている。それ以外で個別の指導計画の作成を必要とする児童生徒93人中3名の作成ができていなかった（令和3年12月現在）。個別の指導計画推進員（県教委）の年3回の訪問指導を受ける中で、計画を作成するだけでなく実行するための方法等について具体的な指導・助言をもらい、実効性のあるものとする事ができた。
主要事業： ② 特別支援教育支援員の活用	
◆	年度当初と夏季休暇中の年2回、研修を実施する計画であったが、夏季休暇中の日程調整ができず、未実施となった。年度初め（始業式前）に実施することで、受講内容や他校の支援員と情報交換したことを活かすことができた。次年度は、2回（年度初めと年度途中）実施し、支援員のスキルアップを図っていきたい。
主要事業： ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）	
◆	特別支援学級が設置されている全学校において、あらゆる学校教育活動を通じて、同じ場で共に学ぶ機会を持つことができた。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	5	保護者・地域に開かれた学校づくりの推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 積極的な情報発信 ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進 ③ 地域学校協働本部との連携
前年度整理した課題	① 改めて情報発信の方法について検討を行う ② — ③ —

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 積極的な情報発信
◆ 学校ホームページの活用
主要事業： ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
◆ 地域人材によるゲストティーチャー授業を行う
主要事業： ③ 地域学校協働本部との連携
◆ 学校運営協議会への地域学校協働活動推進員の参画

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① HPの更新	校	7	学校ごとに月1回以上更新する
② ゲストティーチャーによる授業	校	7	ゲストティーチャー授業実施学校数
③ 参画学校数	校	7	地域学校共同活動推進員の参画学校数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① HPの更新	校	7	7	100	◎	A	A
② ゲストティーチャーによる授業	校	7	7	100	◎		
③ 参画学校数	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 積極的な情報発信
◆ ホームページの更新は学校によって差はあるが、意識して活用するようになってきている。今後も情報発信の一つの方法として、積極的な活用を促していきたい。
主要事業： ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
◆ 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、外部講師の招聘に消極的にならざるを得ない状況もあったが、おおいた教育の日（10月～11月）を中心に外部講師を招いての授業や保護者や地域の方々に学習発表を行った。
◆ 感染防止対策の制限があるなかで、学校ごとに工夫して実施している（オンラインを含む）。
主要事業： ③ 地域学校協働本部との連携
◆ 地域学校協働活動推進員は各学校の学校運営協議会の委員として参画することで、コロナ禍においても、開かれた学校づくりの一助となっている。 学校運営協議会委員と地域学校協働活動推進員が一堂に会し、これまでのコミュニティ・スクールの成果と課題を共有し、今後に繋げることを目的として合同研修会を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染状況により残念ながら中止となった。令和4年度はCS全国大会が玖珠町で開催されることから、これを機に更に連携を深めていけるよう取り組む。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班 学務・指導班
中項目（方針）	6	安心・安全な学校づくり		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 危機管理マニュアルの作成と実行（指） ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政） ③ 施設・設備の安全点検の徹底（政）
前年度整理した課題	学校が要配慮者利用施設に定められていることから、危機管理マニュアルと別に避難確保 ① 計画を作成することが義務づけられている。次年度（令和3年度）中に作成するよう基 地・防災対策課を通じて指導されている。 ② 緊急性の高いものは、改善対策を実施する関係機関を明確にし、改善の実効性を高めるこ とができた ③ 施設の老朽化に伴い、点検結果において指摘事項が増えてきている

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの作成と実行（指）
◆ 避難確保計画の作成
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政）
◆ 通学路安全点検を実施し、改善箇所と改善対策とその改善対策と実施機関を明確にする
主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底（政）
◆ 学校施設・環境の安全点検の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 避難確保計画の作成（指）	校・園	7	要配慮者施設に指定された学校及び幼稚園
② 危険箇所の改善数（政）	回	21	当該年度の危険箇所の改善数
③ 校内安全点検の実施（政）	回	7	校内安全点検の実施校数
共 すぐメール登録件数（政）	戸	793	出校家庭数以上の登録

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 避難確保計画の作成（指）	校・園	7	7	100	◎	B	B
② 危険箇所の改善数（政）	回	21	12	57.1	×		
③ 校内安全点検の実施（政）	回	7	7	100	◎		
共 すぐメール登録件数(政)	戸	793	958	121	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの作成と実行（指）
◆ 町に要配慮者施設に指定された学校は避難確保計画の策定を行った。文部科学省が示す「危機管理マニュアルの見直し」を参考に、マニュアルの見直しを行うよう指導を改めて行った。
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政）
◆ 道路の改修箇所等で、予算の関係で緊急性の順序を判断する必要がある。
主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底（政）
◆ 施設の老朽化に伴い、点検結果において指摘事項が増えてきている。緊急性の判断が必要である。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	7	組織的に取り組む学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校内研修や管理職による観察・指導の実施 ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
前年度整理した課題	① 学力向上会議等に指導主事が学校へ赴くことで、より実践的な指導・助言を行うことができた ② 町指定の公開研究授業への参加が効果的な研修の場の一つとなった

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 校内研修や管理職による観察・指導の実施
◆ 県教委、町教委の指導主事招聘による指導
主要事業： ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
◆ 授業力向上アドバイザーの活用

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 指導主事招聘による指導	校	7	町内学校数
② 授業力向上アドバイザーの活用	校	5	アドバイザーの兼務校数（小学校）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 指導主事招聘による指導	校	7	7	100	◎	A	A
② 授業力向上アドバイザーの活用	校	5	5	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校内研修や管理職による観察・指導の実施
◆ 管理職による観察・指導はどの学校においても十分に実施されていた。指導主事による指導・助言に基づいて、授業改善を図ることができた。
◆ ICTを活用した授業を展開するにあたって、引き続き教職員の研修の充実が必要であり、教職員が研修できる時間の確保のため、会議の精選等に取り組む。
主要事業： ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
◆ 小学校においては、授業力向上アドバイザーによる授業観察、事後指導・支援の中で、児童理解、保護者への働きかけ、他の教職員との協働等についても経験年数の浅い教員が理解を深めることができた。
◆ 教職員と調整し、相談する時間を確保することが難しく、今後の課題である。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	8	「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施 ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習の定着
前年度整理した課題	① 研修を目的を明確にするとともに、参加しやすい時期と時間を設定する ② —

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 玖珠町の文化・歴史を学ぶフィールドワークの実施
主要事業： ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習の定着
◆ 久留島記念館の見学

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① フィールドワークの実施	回	1	新採用職員、玖珠町に初めて赴任した教職員を対象とした研修
② 久留島記念館の見学	校	5	町内小学校数（古後小除く）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① フィールドワークの実施	回	1	0	0	—	B	B
② 久留島記念館の見学	校	5	5	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 例年、夏季休業期間中に実施していたが、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種や感染状況等を踏まえ、昨年に引き続き、実施できなかった。
主要事業： ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習の定着
◆ 久留島記念館に行き、館長や職員のわかりやすい話によって久留島武彦を知り、久留島武彦が口演童話に込めた思いを学ぶ機会となった。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	9	学校間・校種間のきめ細やかな連携		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校種間連携に係る事業の実施
前年度整理した課題	① 研修内容について、目的と事後のフォローも含めて検討する必要がある

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 校種間連携に係る事業の実施
◆ 小6合同学習の実施
◆ 互見授業、相互参加授業の実施
◆ 小中連携会議の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 小6合同学習	回	3	年間実施回数
① 互見授業、相互参加授業の実施	回	3	年間実施回数
① 小中連携会議	回	2	年間実施回数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 小6合同学習	回	3	1	30	×	C	C
① 互見授業、相互参加授業の実施	回	3	2	66	△		
① 小中連携会議	回	2	1	50	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校種間連携に係る事業の実施
◆ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、小6合同学習は1回のみの実施となった。しかし、中学校と小6がそれぞれの学校で中学生と話をするという新しい形での入学前体験が実施された。
◆ くす星翔中へ6小学校からの入学となるので、6小学校の指導項目等を統一していく必要がある。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班
中項目（方針）	10	ICTを活用した教育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① デジタル教材の導入 ② 情報端末活用ガイドラインの策定 ③ 家庭学習での通信端末の活用
前年度整理した課題	① ー ② ー ③ ー

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① デジタル教材の導入
◆ デジタル教科書の導入及び電子ドリルの導入
主要事業： ② 情報端末活用ガイドラインの策定
◆ 玖珠町の未来の地域課題解決を担う人材育成有識者会議の開催
主要事業： ③ 家庭学習での通信端末の活用
◆ 通信端末を使用した家庭学習やオンライン授業等の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① デジタル教材及びデジタル教科書導入学校数	校	7	デジタル教材及びデジタル教科書を導入した学校数
② 取組を公開した学校数	校	7	各校の実践的取組をまとめてHPへの掲載数
③ 情報端末の持ち帰り実施学校数	校	7	情報端末の持ち帰り実施学校数
③ 家庭通信環境整備率	戸	96	未整備家庭（96戸）の解消

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① デジタル教材及びデジタル教科書導入学校数	校	7	7	100	◎	B	B
② 取組を公開した学校数	校	7	7	100	◎		
③ 情報端末の持ち帰り実施学校数	校	7	7	100	◎		
③ 家庭通信環境整備率	戸	96	32	33	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① デジタル教材の導入
◆ 国、県の事業を活用し、デジタル教科書の大部分を導入出来ている。今後、デジタル教材の学校学年別使用率や効果を検証する。
主要事業： ② 情報端末活用ガイドラインの策定
◆ 取組をまとめたHPを公開し、各校の取組を町の取組として平準化を目指す。
主要事業： ③ 家庭学習での通信端末の活用
◆ 持帰り学習の実施はできているが、コロナ禍での休校下でのオンライン授業を実施について全学校での取り組みができていない。
◆ 通信環境環境の整備補助事業を実施したが、全ての家庭で整備できていない。現在通信費の助成を行っているが、事業の原資等令和5年度以降に課題が残る。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	11	学校における働き方改革の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① ICTを活用した日常における業務改善の取組 ② 出退勤管理と具体性のある改善目標の設定（1校1改善運動）
前年度整理した課題	① — ② —

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
◆ 勤怠管理システムの完全施行
主要事業： ② 出退勤管理と具体性のある改善目標の設定（1校1改善運動）
◆ 改善目標の設定

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 勤怠管理システムの完全施行	校	7	町内学校数
② 1校1改善運動の実施	校	7	町内学校数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 勤怠管理システムの完全施行	校	7	7	100	◎	A	A
② 1校1改善運動の実施	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
◆ 出退勤システムによって、教員が時間を意識して業務に取り組むようになった。時間外勤務の月平均時間を45時間以上となる人数が減った。しかし、中学校では、100時間を超える教員がいることから、原因を見つけ、改善対策が必要である。
主要事業： ② 出退勤管理と具体性のある改善目標の設定（1校1改善運動）
◆ 1校1改善運動を各学校で設定し、目標を持って働き方改革の推進に取り組むことができた。会議の効率化、定時退庁日の設定等、効果及び効率性のある取り組みについて、職場で話し合い、実施できた。
◆ 新型コロナウイルスの対応や生徒指導等、突発的な事案の有無もあり、一概に時間だけで評価できない面もある。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班
中項目（方針）	12	地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営		

1. 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	① 広報及び人材育成や部活動への支援 ② 公営塾の効果的な運営 ③ 郡外等から就学する生徒への下宿助成
前年度整理した課題	① 美山高校の情報発信を広く行う ② 公営塾の進学状況の情報発信を広く行う ③ ー

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 広報及び人材育成や部活動への支援
◆ 玖珠美山高校の取組を広報するとともに、部活動支援事業、生徒海外派遣事業の補助を行う
主要事業： ② 公営塾の効果的な運営
◆ 玖珠美山高校生を対象とした「玖珠志学塾」を株式会社Birth47に委託し運営を行う
主要事業： ③ 郡外等から就学する生徒への下宿助成
◆ 郡外から玖珠美山高へ進学しやすい環境を整えるため、町内での下宿を希望する生徒で、部活動や玖珠志学塾利用の者に助成を行う。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 広報くす掲載回数	回	12	月1回程度の掲載
① 補助額の消化率	万円	70	補助額（70万円）の消化率
① 生徒海外派遣人数	人	3	令和元年度派遣した3人の派遣
② 塾の進学実績	人	19	令和元年度国公立大学の進学実績18人を超える
③ 制度の利用者数	人	2	前年度実績数を上回る。（R3は初年度なので目標2）
共 玖珠美山高校定員	人	120	定員120人を目指す

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 広報くす掲載回数	回	12	7	58	×	C	C
① 補助額の消化率	万円	70	26	37	×		
① 生徒海外派遣人数	人	3	0	0	ー		
② 塾の進学実績	人	19	12	63	△		
③ 制度の利用者数	人	2	3	150	◎		
共 玖珠美山高校定員	人	120	112	93	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 広報及び人材育成や部活動への支援
◆ 様々な取組の情報をどのように掲載まで持っていくか課題がある。
◆ コロナ禍で事業実施に影響あり。部活動支援事業は、予算執行の自由度を高める必要がある。
主要事業： ② 公営塾の効果的な運営
◆ 塾進学実績を上げ、学校の定員充足率向上を目指す
主要事業： ② 郡外等から就学する生徒への下宿助成
◆ 郡外から美山高へ進学する生徒への制度であるが、制度利用者が多くなることは、よいことなのか。予算関係も含め課題が残る。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	13	就学前教育の質の向上と教育環境の整備		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 認定こども園と町立幼稚園の連携 ② 就学前児童の就学への支援 ③ 関係機関との連携と家庭教育支援
前年度整理した課題	① 幼児理解や園児の「みとり方」については今後も研修を深めていくことが重要である ② 食を知り、就学に期待が持てるようにするため今後も取り組んでいくことが必要だが、給食体験を実施できる場の見直しが必要だと思われる ③ 連絡会は、園と小学校がつながり子どもの育ちをつなげていくため、今後は回数等の見直しが必要である

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 認定こども園と町立幼稚園の連携
◆ 就学前教育研修会を年間3回実施。各園の5歳児担当等が参加し、幼児理解について研修や協議を行った。
◆ 特別支援教育講演会を開催。新型コロナ感染対策のため各園より5名までの参加とした。
◆ 5歳児交流会を実施。町内7園の幼児教育施設から5歳児と担当者が参加した。
主要事業： ② 就学前児童の就学への支援
◆ 就学時健康診断と教育相談会を実施し、就学へとつなげていった。
◆ 5歳児が学校給食を体験する。今年度より会場を小学校に変更した事により学校への期待が高まった。
主要事業： ③ 関係機関との連携と家庭教育支援
◆ こども幼保小連絡会を開催。各園5歳児担当と1年生担任が参加し、職員間の交流ができた。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 遊学前教育研修会の回数	回	3	学期ごとに1回開催
② 特別支援教育研修会実施	回	1	実施回数
② 5歳児交流会実施	回	1	実施回数
② 5歳児給食体験実施園	回	6	対象園6園（杉ノ子こども園は小学校との交流で実施予定だったができていない。）
② 就学時健康診断と教育相談会	%	100	町内の就学予定児全員の受診（対象児 105名）
③ こども幼保小連絡会実施	回	2	連絡会開催回数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 就学前教育研修会の回数	回	3	3	100	◎	B	B
② 特別支援教育研修会実施	回	1	1	100	◎		
② 5歳児交流会実施	回	1	1	100	◎		
② 5歳児給食体験実施園	園	6	5	83	○		
② 就学児健康診断と教育相談会	%	100	100	100	◎		
③ こども幼保小連絡会	回	2	2	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 認定こども園と町立幼稚園の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ こども園は5歳児担任が毎年入れ替わるため、実践交流を行いながら研修会を積み重ね、保育力を高めていく必要がある。 ◆ コロナ禍での5歳児交流会の在り方と、内容の見直しを行っていく。
<p>主要事業： ② 就学前児童の就学への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 今年度、給食体験会場を森幼稚園から小学校へと移したことで就学への期待がより高まっているとの声が聞かれたため、引き続き取り組んでいく。コロナ禍で園と小学校の交流の中で実施出来ない場合の対策も考えておく必要がある。
<p>主要事業： ③ 関係機関との連携と家庭教育支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 支援が必要な子どもたちや保護者が安心して就学が迎えられるよう取り組んでいく。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	給食センター
中項目（方針）	14	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 郷土愛を育む地産地消の推進 ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保 ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備
前年度整理した課題	③ 食器消毒保管機とミキサーの購入 ③ 故障による食器洗浄機の制御装置の取替工事 ③ 故障による自動火災報知受信機の取替工事 ③ 老朽による高圧気中開閉器の取替工事

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ 寄付に伴い「久留島流すき焼き」事業を行い、金館長による先哲授業を小田小学校で行った
主要事業： ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保
◆ 玖珠産米「ひとめぼれ」、しいたけ、豆腐など積極的に使用している
◆ 給食が提供できなかった際の緊急用として、全食数分の「救給カレー」を購入し、学校へ配布した
主要事業： ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備
◆ 地方創生臨時交付金により食器消毒保管機と包丁・まな板・カッタープレート殺菌保管庫を購入した
◆ 故障による厨芥脱水機の制御盤装置の取替えや配送車後部コンテナ収納口シャッターの修理を行う

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 食育授業の開催学校数	校	6	全小学校数
② 異物混入件数	件	0	異物混入0件
② 食器数の誤り件数	件	13	食器数の誤り件数が前年度の件数以下
③ 施設管理上や連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数	件	0	施設管理上や連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 食育授業の開催学校数	校	6	0	0	—	C	C
② 異物混入件数	件	0	13	0	×		
② 食器数の間違い等の件数	件	13	6	100	◎		
③ 施設管理上や連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数	件	0	0	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ コロナ禍であったため、食育授業は実施できなかったが、継続して取り組んでいく
主要事業： ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保
◆ ふれあい良心市組合が 運営困難 を理由に解散したことにより、町内野菜の確保が難しくなった
主要事業： ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備
◆ 近年、アレルギーを持つ児童生徒が多く、今の対応以上の保護者の要望に応えるためには、施設の増築が必要となってくる。また炊飯業務も直営となれば、同様である。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班
中項目（方針）	1	地域の教育力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社） ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
前年度整理した課題	① 取り組み内容を住民に情報発信する。 ① 支援者を増やす。（学校支援。放課後子ども教室） ② 男性や若者が参加したくなる講座の実施 ② 一般向けの新規講座の開講 ② 地区コミュニティと連携し参加しやすい体制づくり ② 他市町村等と連携した講座の実施

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社）
◆ 学校支援活動…学校から依頼を受けたコーディネーターが支援ボランティアを依頼し学校教育活動を支援した。 ◆ 小学生子ども教室…放課後や休日に余裕教室や自治会館を活用し安全安心な居場所づくりを行った。
主要事業： ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
◆ 昨年の課題であった、若者や男性をターゲットにした講座を新規で5講座実施し、幅広い層の方が参加した。 ◆ コロナ過の中、講師と対策を取りながら可能な限り実施講座を増やすことができた。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町報掲載（社）	回	年1回	年度末に取組の実績を掲載し支援者の拡充を図る。
① 支援者数（社）	延べ人数	802	令和2年度 学校支援334人+チャレンジ468人
② 公民館主催講座（一般）（公）	講座	7	令和2年度 5講座に新しく2講座を実施
② 公民館主催講座（こども）（公）	講座	4	夏休み体験講座（1回） 職業体験講座（3回）
② 公民館主催講座（高齢者）（公）	回	36	.

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町報掲載（社）	回	年1回	1	100	◎	B	B
① 支援者数（社）	延べ人数	802	540	67	△		
② 公民館主催講座（一般）（公）	講座	7	9	129	◎		
② 公民館主催講座（こども）（公）	講座	4	4	100	◎		
② 公民館主催講座（高齢者）（公）	回	36	36	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社）
◆ 学校での取り組みを情報発信することで支援者を増やす。（町報掲載）地域で支える体制づくり
◆ 学校支援は例年どおり実施するが、放課後子ども教室は関係学校と協議の上5分の1程度に回数を減らした。
主要事業： ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
◆ 各自治会館との共同により、公民館講座を実施し、地域に根差した講座を実施する。
◆ 受講生の年齢層等は徐々に広がっているが、更に、いろいろな年齢層の方が参加できる講座を実施する。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 わらべの館
中項目（方針）	2	子どもと大人 家庭と地域での教育		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 青少年健全育成協議会への支援（社） ② わらべサークル協議会への支援（わ） ③ 児童文化の担い手の育成（わ） ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社）
前年度整理した課題	① 7地区育成協役員会にて意見交換会、取り組み状況の確認。 ② 後継者の確保の支援を行う ③ 若い人材の育成を行う ④ 講演会の開催

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援（社） ◆ 玖珠町青少年健全育成推進大会（青少年意見発表、講演会）の実施。 ◆ 7地区の健全育成協議会への支援（役員会2回実施）取組状況を確認し、停滞した地区の活動を促した。 ◆ 家庭教育講演会の実施（アフリカンサファリ取締役園長 獣医師 神田岳委氏「どうぶつと共に生きる」）
主要事業： ② わらべサークル協議会への支援（わ） ◆ わらべサークル協議会と共催で行事を企画運営する ◆ 後継者確保のための研修を行う
主要事業： ③ 児童文化の担い手の育成（わ） ◆ 児童文化の担い手を育成するため、プロ劇団を招聘しワークショップを開催する
主要事業： ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社） ◆ 家庭教育に関する講演会の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町青少年健全育成推進大会（社）	人	210	令和元年度 大会参加者210名
① 7地区育成協役員会（社）	回	2	各地区取組確認、意見交換会
① 「育成協だより」の発行（社）	回	2	年間発行回数（各地区取組、大会について）
② 共催行事の企画運営（わ）	回	2	主要行事：2（こどもフェス/新春こどもまつり）
② 後継者確保のための研修（わ）	回	3	人材育成事業＋ミニ見に劇場：3
③ プロ劇団の招聘実績（わ）	回	3	人材育成事業＋ミニ見に劇場：3
④ 家庭教育講演会（社）	人	30	新規取り組み

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町青少年健全育成推進大会（社）	人	210	171	81	○	C	C
① 7地区育成協役員会（社）	回	2	2	100	◎		
① 「育成協だより」の発行（社）	回	2	1	50	×		
② 共催行事の企画運営（わ）	回	2	1	50	×		
② 後継者確保のための研修（わ）	回	3	4	133	◎		
③ プロ劇団の招聘実績（わ）	回	3	2	67	△		
④ 家庭教育講演会（社）	人	30	81	270	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 中学高校の意見発表により、地元玖珠の魅力ある取り組みを、地域及び家庭へ発信する。 ◆ 7地区の健全育成協議会で連携を図りながら、継続した活動を取り組む（役員の意見交換会にて）
<p>主要事業： ② わらべサークル協議会への支援（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ コロナ禍により、2団体の実績となったが、プロ劇団の公演を観劇することで担い手の育成を行った。 ◆ 人材育成事業は行えているが後継者育成にまでは至っていない。再度団体を知ってもらうことから始めたい。
<p>主要事業： ③ 児童文化の担い手の育成（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 継続的な取り組みを行う。 ◆ 魅力ある事業の立案を計画し広報活動に努める。
<p>主要事業： ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 家庭教育講演会を継続して実施する

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① スポーツ団体、サークル活動の充実 ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
前年度整理した課題	① スポーツ団体、サークル活動の開催 ② 誰でも参加しやすいスポーツイベント

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① スポーツ団体、サークル活動の充実
◆ スポーツ少年団の交流活動（美化活動、交流駅伝大会）
主要事業： ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
◆ リレーマラソン in KUSU 2022

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 交流活動の開催	回	2	美化活動、交流駅伝大会の実施
② 参加人数	人	150	リレーマラソンR1参加者(R2：中止)

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 交流活動の開催	回	2	1.5	75	△	C	C
② 参加人数	人	150	145	97	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① スポーツ団体、サークル活動の充実
◆ スポーツ団体、サークル活動の情報発信をおこない、団体活動の充実をはかる。
主要事業： ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
◆ R3年度より誰もが参加しやすいハーフマラソンに変更。参加者の増加を目指す

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館
中項目（方針）	4	久留島武彦精神を継承する環境の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本童話祭の開催（社） ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社） ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ） ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久） ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久） ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）
前年度整理した課題	<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ禍でも中止でなく最小限の式典開催（社） ② 大会当日の児童生徒参加者の増（社） ③ 指導者の養成と幅広い広報を行う（わ） ④ 学校と連携して取り組む（久） ⑤ 久留島武彦副読本の改訂（久） ⑥ 料集の制作に取り組む（久）

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

<p>主要事業： ① 日本童話祭の開催（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 屋外イベントは中止。無観客で「童話祭式」、顕彰記念行事の「おとぎ劇場」をわらべの館内で実施。 ◆ インターネットによるオンライン配信で、上記催しの他に童話祭の歴史、三島公園、人形劇などを配信した。
<p>主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 本大会は中止し、応募の録音音源で審査し、入賞者を表彰。 ◆ 応募一般53、小学生11の中から1次、2次、最終審査を行い玖珠町ホームページで公表。1位の音源を配信した。
<p>主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 第39回大会の募集で昨年度投句数を上回る実績を目指す ◆ 指導者養成を目指した俳句講習会を開催する
<p>主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 町内の小・中・高等学校を1校ずつ回り、作品の応募を呼びかける。 ◆ 受賞作品を冊子にまとめ、関係者や町内の図書館の図書室に配布する。
<p>主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 久留島武彦副読本の改訂版を町内小学校新4年生及び玖珠町へ転入してきた教員へ配布する。 ◆ 授業の一環として記念館の場の提供及び館長による学校での講演会を実施する。
<p>主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 久留島武彦記念館初の資料集を作成する。 ◆ 企画展を4回、イベントを4回実施する。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① ユーチューブ配信（童話祭）（社）	再生回数	3,000	R3年5月開催から2か月間の総視聴者数（R3年度から）
② 玖珠町ホームページからの音源再生数（社）	再生回数	1,050	町内小中学生数1,050人
③ 昨年度より投句数を増やす（わ）	句	13,500	令和2年度実施数（13,157句）以上
③ 俳句講習会の開催数（わ）	回	5	投句の質向上のため指導者を対象とする講習会の開催
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	100	令和2年度の応募作品数を超える。
⑤ 副読本（改訂版）の活用（久）	部	150	令和2年度の小学校4年生への配布。
⑤ 館長による講演会（久）	回	2	令和2年度の館長による講演会の回数を超える。
⑥ 企画展及びイベントの開催（久）	回	5	令和2年度に実施した企画展・イベントの実施回数を超える。
⑥ 調査報告書・資料集の発行（久）	回	2	久留島武彦資料集と館報の発行。

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① ユーチューブ配信（童話祭）（社）	再生回数	3,000	3,483	116	◎	B	B
② 玖珠町ホームページからの音源再生数（社）	再生回数	1,050	798	76	△		
③ 昨年度より投句数を増やす（わ）	句	13,500	18,153	134	◎		
③ 俳句講習会の開催数（わ）	回	5	3	60	△		
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	100	124	124	◎		
⑤ 副読本（改訂版）の活用（久）	部	150	161	107	◎		
⑤ 館長による講演会（久）	回	2	1	50	×		
⑥ 企画展及びイベントの開催（久）	回	5	6	120	◎		
⑥ 調査報告書・資料集の発行（久）	回	2	2	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 日本童話祭の開催（社）
◆ これまでの童話祭行事に、オンライン配信を加えて、久留島武彦の功績を全国に知ってもらおう
主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社）
◆ 大会の様態をHP上で配信し学校にもGIGAスクール等で視聴してもらおう。
主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ）
◆ 団体投句の中学生の部と個人投句が大きく伸び、投句数4,996句増となった。
◆ 俳句講習会は、コロナ禍により集まっての開催ではなく、通信句会という新たな形で取組ができた。
主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久）
◆ 町内の子どもたちが、卒業するまでに最低1作品は創作童話を応募するようにする。
主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久）
◆ 子どもたちの久留島武彦に対する知識は高まっている。今後も副読本を中心に学習を深めてもらう。
◆ コロナ禍で集団での講演が行えない中、タブレット等を利用し学習の場を提供する。

主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）

- ◆ これまでに収集してきた、当時の新聞記事を活字化し資料集としてまとめる。
- ◆ コロナ禍で来館者が少ない中、魅力ある企画展の開催を目指す。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館
中項目（方針）	5	文化の創造と振興		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社） ② 巡回音楽会の開催（社） ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公） ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久） ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
前年度整理した課題	① 出展数が減少しているため、学校やお知らせで増加する取り組みを行う。（社） ② ー ③ 来場者の増加（公民館フェスティバル）（公） ③ 参加団体の協力体制の確立（公民館フェスティバル）（公） ④ 文化事業の有効的なPR（公） ④ 文化振興のための文化事業の誘致（補助金）（公） ④ より良い芸術作品の展示を行う（久） ⑤ 魅力ある企画展の開催（久）

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社）
◆ 新型コロナウイルス感染症の状況から中止(実行委員会にて決定)
主要事業： ② 巡回音楽会の開催（社）
◆ 1台のピアノを2人で演奏する「連弾」の演奏会を10月の4日間、町内全小中高を対象8か所で実施
主要事業： ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公）
◆ コロナ禍の中、実施に向けて実行委員会を行い準備を進めてきたが、残念ながら舞台部門は中止となった。
◆ 展示部門は、新たに町内の子ども園児のスケッチや、わらべの館と連携し展示数の増に繋がった。
主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）
◆ 他市町と協同により、宝くじ助成事業を利用し、町費では実施できないような演劇を実施することができた。（公）
◆ コロナ禍の中、実施に向けて演者、舞台業者と協議を重ね、工夫しながらマリンバコンサートを実施した。（公）
◆ 佐世保音楽隊コンサートは、予約満席となったが、新型コロナウイルスの影響により残念ながら中止となった。（公）
◆ NHKに依頼し、共催で全国規模のイベントを実施する事ができ、全国各地から多くのお客さんに来ていただいた。（公）
◆ ボランティアスタッフを募集するなど、町民に興味をもっていただくための新たな取組を実施した。（公）
◆ 中島均の陶芸展と西島伊三雄の童画展を実施した。（久）
主要事業： ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
◆ 「KURUSHIM」、「村上海賊の娘 コミック展」、「中島均展」、「西島伊三雄展」4回の企画展を実施した。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町美展出展数（社）	点	136	136点（令和元年度）（絵画35.書41.写真48.工芸12）
② 巡回音楽会の開催（社）	校	8	小学校6・中学校1校・高校1校
③ 公民館フェスティバル（公）	人	500	716席×1/2（入場制限）×0.7×2日間
④ 公共ホール支援事業（マリンパコンサート）（公）	人	250	716席×1/2（入場制限）×0.7
④ 佐世保音楽隊コンサート（公）	人	250	716席×1/2（入場制限）×0.7
④ 宝くじ助成（一人芝居）（公）	人	286	716席×1/2（入場制限）×0.8
④ NHK全国放送公開番組「鉄旅・音旅」（公）	人	250	716席×1/2（入場制限）×0.7
④ 来館者実績（久）	人	1,000	令和2年度実施した、中村信喬展の入館者数を上回る。
⑤ 来館者実績（久）	人	5,000	令和2年度の入館者数を上回る。

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町美展出展数（社）	点	136	0	0	—	B	A
② 巡回音楽会の開催（社）	校	8	8	100	◎		
③ 公民館フェスティバル（公）	人	500	0	0	—		
④ 公共ホール支援事業（マリンパコンサート）（公）	人	250	145	58	×		
④ 佐世保音楽隊コンサート（公）	人	250	0	0	—		
④ 宝くじ助成（一人芝居）（公）	人	286	299	105	◎		
④ NHK全国放送公開番組「鉄旅・音旅」（公）	人	250	252	101	◎		
④ 来館者実績（久）	人	1,000	3,380	338	◎		
⑤ 来館者実績（久）	人	5,000	5,245	105	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社） ◆ 出展数が減少しているため、増加する取り組みを行う（書道は児童生徒の出品枠を増加させた）書道のみ増 ◆ 実行委員会委員の固定化及び高齢化により作品数が限られる。
主要事業： ② 巡回音楽会の開催（社） ◆ 子どもたちに一流の芸術文化を鑑賞する機会を継続して実施する
主要事業： ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公） ◆ 2年連続で実施できていないため、課題が見えにくいですが、次年度は実施できるよう実行委員会を進める。 ◆ 各地区自治会館と連携し、何か公民館フェスティバルに参加できることはないか検討する。

<p>主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 来場者の満足度はとても高いが、興味の無い人や、玖珠町民に合ったPR方法を検討が必要である。（公） ◆ 厳しい財政事情から予算確保が難しく、自主イベントができておらず、文化振興には程遠い状況である。（公） ◆ ボランティアスタッフ（メルスタッフ）を美山高校と協議し推進していく。（公） ◆ 記念館の設置目的である、町民の文化の向上を目指す観点から、町民の来館を促す。（久）
<p>主要事業： ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 工夫を凝らした企画展でメディアに取り上げられる回数が増えた。今後はリピーターを増やす企画展を実施したい。

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	6	地域にある文化財の保存と活用の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 文化財の保存・活用の推進 ② 国指定文化財の保存整備
前年度整理した課題	① 伐株山城跡の地形調査 ② 角牟礼城跡崩落石撤去工事および久留島氏庭園基本計画策定

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 文化財の保存・活用の推進
◆ 伐株山城跡の地形調査
主要事業： ② 国指定文化財の保存整備
◆ 角牟礼城跡の整備「本丸北側石垣崩落石の撤去」
◆ 旧久留島氏庭園の整備基本計画の策定

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 伐株山城跡の地形調査	回	1	伐株山城跡の地形調査
② 本丸北側石垣崩落石撤去工事・基本計画の完成	%	100	工事および計画策定の進捗

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 伐株山城跡の地形調査	回	1	1	100	◎	A	B
② 石垣崩落石撤去工事・基本計画の完成	%	100	100	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 文化財の保存・活用の推進
◆ 伐株山城跡の町指定に向けた検討
主要事業： ② 国指定文化財の保存整備
◆ 史跡角牟礼城跡保存活用計画に基づく整備（本丸北側石垣解体修復工事）を行っていく
◆ 旧久留島氏庭園整備基本計画に基づく課題（清水御茶屋発掘調査）に取り組んでいく

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	公民館班 わらべの館
中項目（方針）	7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① わらべの館の図書の実充（わ） ② 中央公民館図書室の実充と利用者の拡大（公） ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ） ④ 各自治会館との連携・協議（わ） ⑤ わらべの館移動図書館車の活用（わ） ⑥ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ）
前年度整理した課題	① 図書館を充実させる取組（展示の工夫、広報、貸出冊数増、世s何の確保） ② 中央公民館図書室のPR ② 新刊情報の告知（広報など） ③ わらべの館との連携 ④ 自治会館図書室との連携 ⑤ 利用促進のため広報活動 ⑥ 図書館サービスのあり方について連携・協議を具体的に進める

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① わらべの館の図書の実充（わ） ◆ テーマ展示で利用者の興味関心を促す ◆ 調査相談と県内図書館との連携で利用者ニーズにこたえる ◆ 貸出冊数の増を目指す
主要事業： ② 中央公民館図書室の実充と利用者の拡大（公） ◆ 「広報くす」での新刊情報、アンケートの実施、読書週間の取組など、利用者増の取組を行うことができた。 ◆ 図書室の雰囲気づくりを行い、利用しやすい図書館づくりを目指し実施した。
主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ） ◆ わらべの館と連携し、新刊図書の実充を図ることができ、利用者増につながった（公） ◆ 秋の読書週間では、わらべの館と連携し、新たな取組をすることができた（公） ◆ 相互協力にむけた協議を行う（わ）
主要事業： ④ 各自治会館との連携・協議（わ） ◆ 相互協力にむけた協議を行う
主要事業： ⑤ わらべの館移動図書館車の活用（わ） ◆ 新規ステーションの設置を目指す ◆ 団体貸出の呼びかけ

主要事業： ⑥ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ） ◆ わらべの館と図書管理システム導入の協議を行い、導入に向けて前進した（公） ◆ 相互協力にむけた協議を行う（わ） ◆ 玖珠町公立図書館基本計画（案）の作成（わ）

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① テーマ展示の回数（わ）	回	38	毎月3回以上のテーマ展示
① 調査相談と県内図書館との連携（わ）	式	1	県内図書館からの借受と貸出を円滑に行う
① 貸出冊数の増（わ）	冊	48,089	昨年度実績以上の貸出
② 利用者数（公）	人	770	過去の最大利用者数（平成28年度基準）
② 貸出冊数（公）	冊	1772	過去の最大貸出冊数（平成28年度基準）
③ 相互協力に向けた協議（わ）	式	1	中央公民館図書室との連携を協議する
④ 相互協力に向けた協議（わ）	式	1	各自治会館と連携に向けた協議を行う
⑤ 新規ステーション増（わ）	箇所	2	移動図書館新規ステーションの増
⑤ 新規団体貸出施設の増（わ）	箇所	2	移動図書館新規団体貸出の増
⑥ 相互協力に向けた協議（公）	式	1	図書館サービスに向け関係者と協議
⑥ 玖珠公立図書館基本計画（案）の作成（わ）	式	1	図書館サービス網の構築に向けて協議

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① テーマ展示の回数（わ）	回	38	28	74	△	B	B
① 調査相談と県内図書館との連携（わ）	式	1	1	100	◎		
① 貸出冊数の増（わ）	冊	48,089	56,260	117	◎		
② 利用者数（公）	人	770	773	100	◎		
② 貸出冊数（公）	冊	1772	1,968	111	◎		
③ 相互協力に向けた協議（わ）	式	1	1	100	◎		
④ 相互協力に向けた協議（わ）	式	1	1	100	◎		
⑤ 新規ステーション増（わ）	箇所	2	0	0	×		
⑤ 新規団体貸出施設の増（わ）	箇所	2	0	0	×		
⑥ 相互協力に向けた協議（公）	式	1	1	100	◎		
⑥ 玖珠公立図書館基本計画（案）の作成（わ）	式	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① わらべの館の図書充実（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ テーマ展示の実施や内容についての工夫を行う。 ◆ 県下図書館の取組みとともに読書推進を行ってきたが、更に町民ニーズに沿った選書に努める。
<p>主要事業： ② 中央公民館図書室の充実と利用者の拡大（公）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新刊の増冊は、利用者増に必要な事だと分かった。限られている予算内で、新刊増になる手段を模索する。 ◆ 来館者が、図書室に興味をもち、利用してみたいくなる図書室の雰囲気づくりを更に行っていく。
<p>主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 図書館システム導入に向けて、連携、協議を進め、少しでも利用しやすい図書室づくりを進める。（公） ◆ 図書システム導入後は、2館で何をすべきか、何をすることによりもっと利用しやすくなるか協議、実施していく。（公） ◆ 図書サービスの向上を図るための、連携、協議を行なった。今後も継続していく。（わ）
<p>主要事業： ④ 各自治会館との連携・協議（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ わらべカレンダーの配布や移動図書館の運行について連携・協議を行った。継続していく。
<p>主要事業： ⑤ わらべの館移動図書館車の活用（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ステーション数の増には至らなかったが選書しBOXでの貸出は好評であった。図書室業務について専門性が求められている。図書室業務の研修を重ねていく。 ◆ 移動図書館業務の運用や効率化に努める。
<p>主要事業： ⑥ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 町民に求められる図書館サービスの在り方について、連携・協議を継続する。（わ）

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	学務・指導班
中項目（方針）	1	学校教育における人権教育の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進 ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 人権教育に係る年間指導計画の作成及び実施
主要事業： ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
◆ 各学校での職員研修

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 人権教育に係る年間指導計画の作成	校	7	全学校実施
② 職員研修	校	7	全学校実施

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 部落差別問題に関する授業の実施	校	7	7	100	◎	A	A
② 教職員研修の実施	校	7	7	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 各学校で人権教育に係る年間指導計画を作成することで、計画的に指導を行うことができた。継続的に学ぶことで啓発に繋げることが重要であることから、今後も継続し、取り組む。
主要事業： ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
◆ 人権差別における大きな問題の一つとして、部落差別の教職員研修を行った

令和4年度（令和3年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	2	あらゆる場における人権教育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 人権公開講座の開催 ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載 ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
前年度整理した課題	① — ② — ③ —

2. 令和3年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 人権公開講座の開催
◆ 年6回実施 ◆ 講座内容をわかりやすい内容となるために講師と十分な打ち合わせを行った。
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 年12回掲載
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 社会教育委員会にて「部落問題解消」についての研修を実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 受講者数の確保	人	321	321人（令和2年度）
① 分かりやすい・まあまわかりやすい	%	77	77%（平成30年度）講座終了後のアンケート調査結果
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12回（令和2年度）毎月掲載
③ 社会教育委員会議で研修実施	回	1	定例会が年3回開催される中、研修会の時間を設ける

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(% b/a)	達成度	自己評価	総合評価
① 受講者数の確保	人	321	326	102	◎	A	A
① 分かりやすい・まあまわかりやすい	%	77	89.2	116	◎		
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12	100	◎		
② 社会教育委員会議で研修実施	回	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 人権公開講座の開催
◆ P T A、教員、町職員の研修として参加者の確保。
◆ R4より新たにこども園の先生に参加者の協力を依頼する。(人権研修)
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 小中学校の協力により継続していく
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 社会教育委員会を年3回開催する中で、人権学習についての研修会を取り入れる